

身近に頼れる人がいなくても  
安心して暮らせる社会を  
つくるプロジェクト

社会福祉法人  
文京区社会福祉協議会  
地域連携ステーション(ファミコム)  
根本 浩典

①きっかけ

②プロジェクトの内容

なぜはじめようと思ったのか

あるAさんに起こっている出来事から

私たちはプロジェクトの必要性を感じました。

# Aさんってどんな人

数年前に、奥様、お母様を亡くしています。

お子さんはいません。

地域活動のはじまりは、奥様がされてきた「みまもりサポーター」というものを引き継いだのがきっかけでした。

責任感の強い、真面目なマメな方。

# おひとりさま高齢者のニーズ

急な入退院、  
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要な…  
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…  
骨はひとりで歩いていけない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨  
家財処分

生前

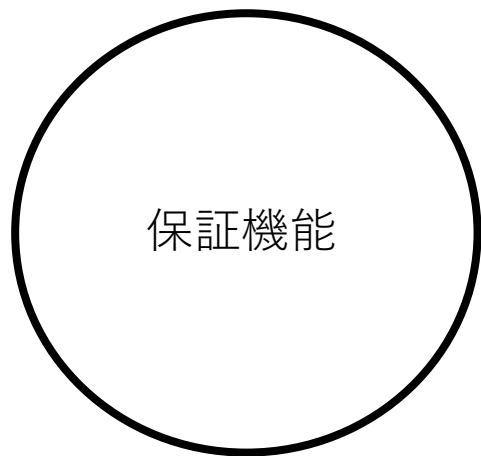
死後

皆さん不安を抱えていらっしゃる・・・

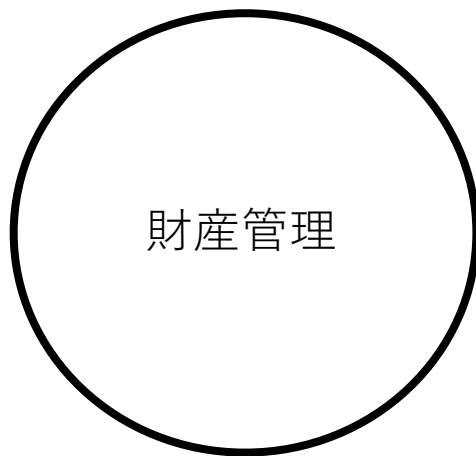
# 課題

なぜこのプロジェクトが  
必要なのか

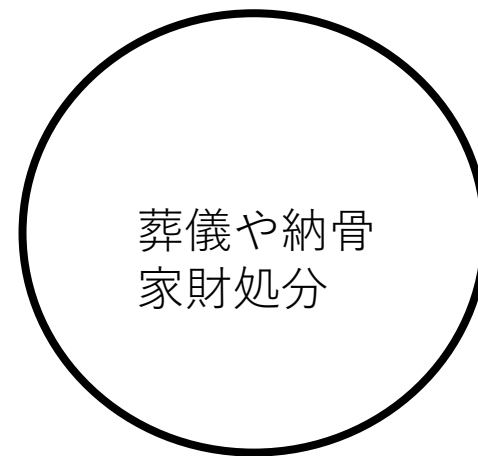
急な入退院、  
施設への入所に必要な…



認知症になっても必要…  
家賃や光熱費の支払い



死後の手続き…  
骨はひとりで歩いていけない



# おひとりさま高齢者の状況

三世代同居の減少、そして単身高齢者の増加

終活・・・人生の最期に向けて準備をしてくれる、

最期を託せる、相談できる家族などが近くにいないケースが増えている

〈例〉

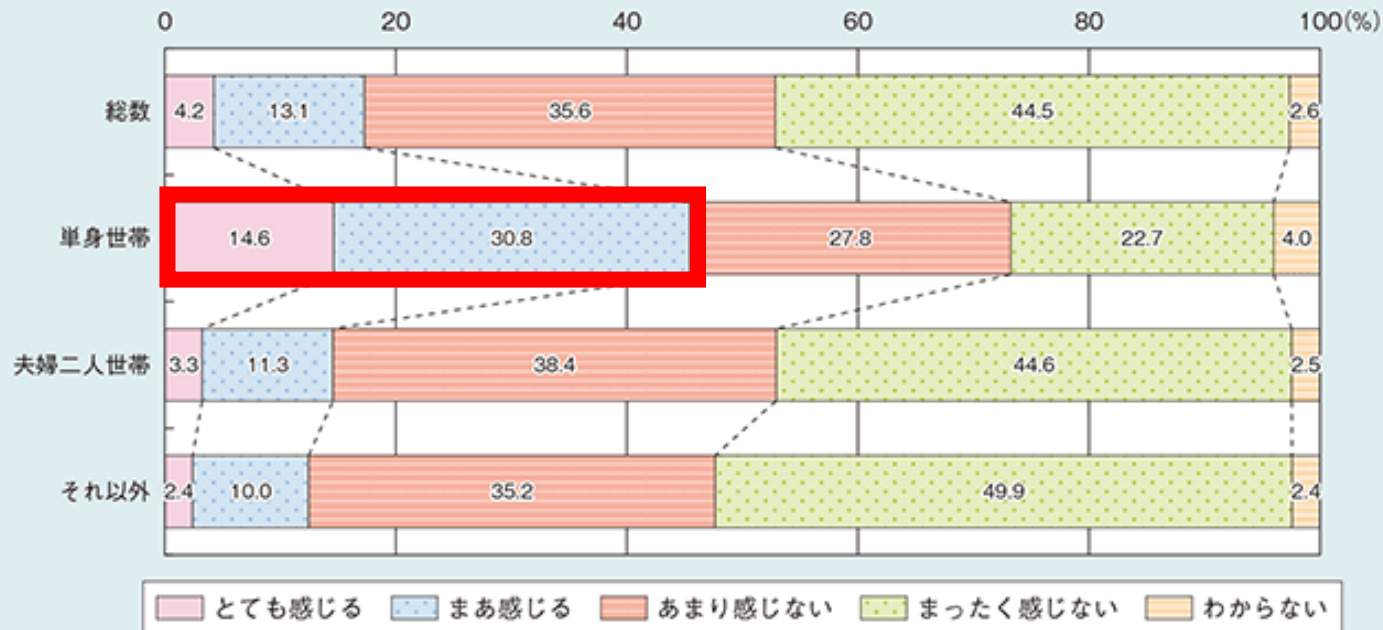
子どもがいない

離れている

頼りたくない

# おひとりさま高齢者の状況

孤独死を身近な問題と感じるものの割合（60歳以上の男女）



資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」（平成24年）

（注）対象は、全国60歳以上の男女

\*本調査における「孤独死」の定義は「誰にも看取られることなく亡くなったあとに発見される死」



# おひとりさま高齢者の状況(2)

2025年問題 (団塊の世代の方が75歳を迎える年)

3人に1人

65歳以上

5人に1人

75歳以上

10人に1人

認知症を患っている

(国際医療福祉大学教授の高橋泰氏)

# 対象になる方

- ①文京区内に住む、原則として70歳以上の方
- ②明確な契約能力を有する方
- ③子がない方、または遠方等でサポートを受けられない方
- ④生活保護を受給されていない方

# 具体的内容

急な入退院、  
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要…  
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…  
骨はひとりで歩いていけない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨  
家財処分

生前

死後

# 多様な他機関との連携

急な入退院、  
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要…  
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…  
骨はひとりで歩いていけ  
ない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨  
家財処分

弁護士・司法書士

東京福祉会

ポイント：多様な主体の強みを活かし、役割分担

# 特に住宅関連の課題をピックアップすると

## 転居が想定されるケース

- 身体能力が弱まり、低層階に移りたい
- 建物の老朽化等による建て替え
- 要介護状態になったなど

## 想定される課題

- 保証人・緊急連絡先がない
- 保証会社も審査が厳しい
- 収入・資産が潤沢でなく、保険料の負担が困難

# 貸主の不安

- ・ 家賃の不払いなどに対する不安
- ・ 住居の使用方法に対する不安
- ・ 居室内での死亡事故発生そのものへの漠然とした不安
- ・ 死亡事故に伴う原状回復や残置物処分等の費用への不安
- ・ 死亡事故後に空室期間が続くことに伴う家賃収入の減少への不安
- ・ 他の入居者との協調性に対する不安
- ・ 高齢化対応などのハード・ソフトの対応が整っていない

# 不安の解消をしたい!

- 安心してもらえらるるよう  
信用性の担保
- 高齢者でも自分の住みたい家  
に住める環境づくり